



耳かきでの事故にご用心!

事例 1

4歳の息子が、立ったまま自分で耳かきのまねごとをしていたようだ。ふとした拍子に転倒し、使っていた綿棒が耳に刺さって出血した。

(当事者：男児 4歳)

事例 2

息子の耳かきをしていたら、綿棒の先が折れ、綿の部分が耳の中に残って取れなくなった。

(当事者：男児 6歳)

事例 3

自宅で耳かきをしていたところ、子どもが急にぶつかってきたため、耳を負傷した。

(当事者：女性 36歳)



ひとつアドバイス

- 耳かき中の事故が子ども(特に5歳以下の乳幼児)に多く起きています。
- 事故にあった乳幼児の半分以上が、自分で耳かきをしていました。子どもは大人のみねをしたがるものです。子どもの手の届く場所に耳かき棒などを置かないようにしましょう。
- 個人差はありますが、耳あかは少しずつ耳の入り口に移動してきます。耳かきは、見える範囲のものを無理せずに取り、あまり奥までいじらないようにしましょう。
- 耳かき中に子どもがぶつかってきてけがをする危険性もあります。耳かきをするときは、周囲の状況に十分注意しましょう。また、耳かきをしている人を押しつけないよう子どもに伝えておくことも大切です。

さぼーとくん

